

株主のみなさまへ

..... Vol.52

株 主 通 信 第 1 1 4 期

2020年1月1日～2020年12月31日



100th ANNIVERSARY
1921-2021

表紙:2020年10月 第103回ジロ・デ・イタリア 第18ステージの様子 表紙写真撮影者:Cor Vos



100th ANNIVERSARY
1921-2021



代表取締役社長 島野 容三
(2021年3月30日代表取締役会長兼CEO就任予定)

事業の経過および成果

当連結会計年度におきましては世界的な新型コロナウイルス感染拡大により経済活動が大きな制約を受けました。欧州では感染拡大防止のため春先に各国においてロックダウン等が実施されました。夏のバカンスシーズン前にそれらの措置が緩和されたものの感染者数の増加により再び行動制限が強化されるなど、感染収束が見えないことによる景気の先行きに対する懸念から消費者マインドは低調に推移しました。

米国では、春の新型コロナウイルス感染拡大を受けて雇用環境が急速に悪化しました。外出制限緩和後一時的に回復の気配を見せた経済指標も本格的な回復基調に転ずることはなく、依然として不透明な先行きから消費を控える動きが拡がりました。

日本では、4月の緊急事態宣言に基づく外出自粛要請に伴い景気は後退しました。宣言解除後感染拡大防止策を講じつつ、Go Toキャンペーン等の経済施策導入により経済活動の下支えを図らんとしたものの感染拡大は止まらず、個人消費回復の足取りは重いままとなりました。

このような景況ではあったものの、密を避けることができる自転車、釣りへの関心から需要が高まり、当連結会計年度における売上高は378,040百万円（前年同期比4.1％増）、営業利益は82,701百万円（前年同期比21.6％増）、経常利益は81,471百万

円（前年同期比17.3％増）、親会社株主に帰属する当期純利益は63,472百万円（前年同期比22.5％増）となりました。

自転車部品

新型コロナウイルス感染拡大により、自転車の需要は春先に大きく落ち込んだものの、その後自転車は手軽なレクリエーション、エクササイズ、かつ感染リスクの低い交通手段として注目されるところにより、世界規模での需要の高まりが見られました。

このような状況の下、欧州市場、北米市場をはじめとする海外市場では、自転車および自転車関連商品の店頭販売は好調を維持した一方で、継続する旺盛な需要に供給が追いつかない状況から、各国の市場在庫、流通在庫ともに不足する傾向が続きました。

日本市場では、欧米のような大きな自転車需要の高まりは見られなかったものの、レクリエーションや交通手段を目的としたクロスバイクや電動アシスト軽快車の店頭販売は堅調に推移し、市場在庫は概ね適正水準で推移しました。

このような市況の下、マウンテンバイクコンポーネントの新型「Deore」をはじめ、既存の幅広い製品全般に多くの注文をいただきました。

この結果、当セグメントの売上高は297,777百万円（前年同期比2.7％増）、営業利益は68,494百万円（前年同期比18.4％増）となりました。

釣具

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの国でロックダウン等の外出規制が行われ、それに伴う店舗営業禁止措置により、2020年前半は釣具の販売に影響が出ました。規制緩和後はアウトドアレジャーとしての釣りが再評価されるとともに、釣具への需要も高まりました。

このような状況の下、日本市場では、アウトドアを志向する新規参入者の増加により活発化した市場の動きにより販売は好調に推移しました。第4四半期においては天候にも恵まれ、特に中級・普及価格帯製品の販売が好調でした。

海外市場では、北米市場においては新製品への高い評価により、低中価格帯製品を中心に販売は好調に推移しました。欧州市場に

おいては感染再拡大により一部の地域でロックダウンがあったものの、釣具のイーコマース伸張が販売チャネルの多様化を促したことにより販売は力強く推移しました。アジア市場においては、新型コロナウイルス感染からいち早く回復した中国市場の販売は堅調さを維持しました。第4四半期に釣りシーズンに入った豪州市場においては高い釣具需要を受け販売は好調に推移しました。

このような市況の下、新製品の注文は好調であり、ハイパワーXを搭載したバスロッド「ZODIAS」やスパイラルXコア搭載の磯竿「BB-Xスペシャル」シリーズ、スピニングリールの「VANFORD」や「SARAGOSA SW」は市場から好評を得ました。

この結果、当セグメントの売上高は79,907百万円（前年同期比9.7％増）、営業利益は14,264百万円（前年同期比39.6％増）となりました。

その他

当セグメントの売上高は356百万円（前年同期比0.8％増）、営業損失は57百万円（前年同期は営業損失59百万円）となりました。

期末配当のご報告

当社は、株主のみなさまに対する利益還元を経営上の重要課題と捉えており、安定的な配当の維持・継続とともに、業績の進展に応じた成果の配分を行うことを基本方針としております。この基本方針に基づき、普通配当は1株につき77円50銭とするとともに、2021年3月に創業100周年を迎えることを記念し、株主の皆様の日頃のご支援に感謝の意を表したく、記念配当200円を加え、今回の期末配当金につきましては、1株当たり277円50銭の配当とさせていただきます。これにより当期の年間配当額は、1株当たり355円となりました。

なお、次期の配当につきましては、1株当たり年間配当額155円（中間配当金77円50銭、期末配当金77円50銭）を予定しております。

今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けたワクチンの接種開始など景気回復に向けた明るい兆し

があるものの、経済活動の本格回復に向けた動きは依然不透明な状態が続いております。一方で、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、引き続き密を避けることができるアウトドアレジャーへの関心が持続すると思われます。

欧州では、EUからの英国離脱による経済的混乱は自由貿易協定締結の合意によって避けられる見通しが立ちました。中国では新型コロナウイルスの影響が和らぎ、個人消費が牽引する格好で景気回復が継続すると思われます。米国では、バイデン政権の誕生により、政府による追加的な財政支援が期待されるものの、政治的分断による社会の不安定化が景気回復に水を差すおそれがあります。日本では、感染動向が消費者マインドに直結し、東京オリンピック・パラリンピック開催への影響も懸念されることから、消費の落ち込みを十分に取り戻すには至らず、回復ペースは緩慢なものになる見込みです。

このような経営環境の中、当社は、自転車や釣具に対する好調な需要動向を注視しつつ、日本発の「開発型デジタル製造業」として、多くの人々に感動していただける「こころ躍る製品」の開発・製造に邁進することはもとより、企業と社会の共有価値を創造し続ける「価値創造企業」として、一步一步、前進していくことが大切だと考えております。経営効率のさらなる向上を図り、より豊かで、新たな自転車文化、釣り文化の創造を促進し、持続的な成長を目指してまいります。

その結果、2021年12月期の連結業績予想は以下のとおりいたします。

	2021年12月期	前年同期比(%)
売上高	4,555億円	+ 20.5
営業利益	1,050億円	+ 27.0
経常利益	1,053億円	+ 29.2
親会社株主に 帰属する当期純利益	765億円	+ 20.5

株主のみなさまにおかれましては、今後ともなにとぞ変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2021年3月

シマノの歩み

製品の歩み



1921
島野庄三郎が「島野鐵工所」を創業(現・堺市堺区東湊町)



1940
株式会社に改組
商号を「株式会社島野鐵工所」に変更
島野庄三郎が初代社長に就任



1951
商号を「島野工業株式会社」に改称

1957
冷間鍛造の研究を開始

1958
島野尚三が第2代社長に就任



1965
アメリカ・ニューヨークに初の海外販売拠点「SHIMANO (EUROPA) GMBH」を設立



1970
釣具事業部を発足

1972
西ドイツ・デュッセルドルフに販売拠点「SHIMANO (EUROPA) GMBH」を設立
大阪証券取引所第二部に上場

1973
シンガポールに初の海外生産拠点「SHIMANO (SINGAPORE) PTE. LTD.」を設立
東京証券取引所第二部に上場
東京証券取引所、大阪証券取引所ともに第一部に上場

1991
社名を「島野工業株式会社」から「株式会社シマノ」に変更

1992
島野敬三が第3代社長に就任



1995
島野喜三が第4代社長に就任



2001
島野容三が第5代社長に就任



2014
本社新工場「Sakai Intelligent Plant」が竣工



1922 自転車部品事業
フリーホイールの生産に着手



1957 自転車部品事業
内装変速機(3スピードハブ)の生産に着手



1971 釣具事業
スピニングリール「DUX」シリーズ発売



1973 自転車部品事業
ロードバイク用コンポーネンツ初代「DURA-ACE」シリーズ発売



1977 釣具事業
ベイトリール「BM」シリーズ発売



1982 自転車部品事業
マウンテンバイク専用コンポーネンツ「DEORE XT」シリーズ発売



1984 自転車部品事業
「SHIMANO INDEX SYSTEM」(SIS)を搭載した「DURA-ACE」7400シリーズ発表



1990 自転車部品事業
「Dual Control Lever」(DCL)を「DURA-ACE」7400シリーズとして発表



1992 釣具事業
「SHIMANO BALANCE LOCK」(SBL)を搭載したスピニングリール初代「STELLA」発売



2003 釣具事業
「DC (Digital Control) ブレーキ」を搭載したベイトリール「CALCUTTA CONQUEST 200DC・201DC」発売



2009 自転車部品事業
電動変速システム「DI2」を搭載したロードレーシングコンポーネンツ「DURA-ACE 7970」シリーズ発売



2016 自転車部品事業
E-MTB向けE-バイクシステムコンポーネンツ「E8000」シリーズ発売



2021年3月、当社はおかげさまで創業100周年を迎えました。
これまでの歴史を振り返りつつ、これからも変わらず
「こころ躍る製品」をお届けしていくために、
新たな100年に向けて歩みを進めてまいります。

持続可能な世界に向けて歩み続ける シマノの強い意志を示したトリコロールライン

100周年を機に、SHIMANOのブランドロゴタイプをリニューアルいたしました。私たちの使命「人と自然のふれあいの中で、新しい価値を創造し、健康とよろこびに貢献する」をコミュニケーションシンボルとして象徴化・視覚化したトリコロールラインは、大自然そのものを象徴しています。ライトグリーンは大地を、ブルーは空を、ディープブルーは海を表し、私たちの事業領域や目指している世界観をこの色にこめています。

SHIMANO

3色ラインに込めたシマノの想い、シマノ・トリコロール・プロジェクト

2015年のSDGs採択など、持続可能な社会の創造に向けて機運が高まる中、シマノでは、世界が望むサステナブルな社会の創造に貢献するため、企業姿勢と理念にもとづき、新たな思いを込めて「シマノ・トリコロール・プロジェクト」を立ち上げました。従来から取り組んできたReduce（CO₂と使い捨てプラスチックの発生抑制）、Reuse（水の循環利用の促進）、Recycle（バッテリーのリサイクル）の3Rをさらに加速させるとともに、今後、より幅広い活動を展開してまいります。

REDUCE

CO₂ 排出量削減・プラスチック使用量低減

世界の生産拠点を中心に、CO₂削減・省エネルギー、プラスチック消費量の削減により、環境にやさしいモノづくりに取り組んでいます。

【各事業部の取り組みの一例】

●自転車部品事業部

梱包材や製品の同梱物、パッケージなどに使用される使い捨てプラスチックを削減、プラスチック使用の廃止や素材の置き換えを進めています。



●釣具事業部

ロッドの梱包で使用するプラスチックの削減、さらに紙ケースなどへの転換をさらに推進しています。



シマノグリーンプラン（SGP） 環境負荷の低い製品づくりを行うための指針

SGPは、より環境負荷・健康負荷の少ない製品と安心を世界中のお客様にお届けすることを目的とした調達基準です。年々厳しくなる国内外の法規制や顧客要求に応じてSGPを改訂し、協力会社へ理解と協力を要請するとともに、製品の適合確認を行い、お客様に信頼される製品づくりを進めています。



新しい自転車文化・釣り文化の創造を目指して

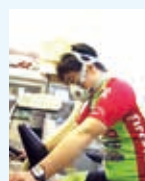
長年にわたって自転車・釣りなどの分野で、世界中のユーザーに“こころ躍る製品”を届けるだけでなく、広く一般の人々にも自転車や釣りを通じた楽しみ、よろこび、自然とのふれあいを感じることでできる機会の提供に努めてまいりました。“価値創造企業”として取り組んできた活動を、大きな4つの柱にそってご紹介いたします。

1 新たな価値の創出

今日、自転車・釣りの文化的価値や社会的役割は大きく変化しています。シマノでは時代の変化に合わせて、自転車・釣りの文化的価値を見直し、情報発信とともに製品を通じて新たなライフスタイルの創出を後押ししています。

自転車と健康 / 『Cyclingood』

自転車と一緒につくる、健康的で豊かな暮らしの提案



大学・研究機関との共同研究



2 魅力あるフィールドの創造

一流アスリートが競い合う自転車ロードレースや、卓越した釣技を披露するインストラクターの魅力あふれる最前線のシーン。シマノは、そのような“夢が生まれるフィールド”をあらゆる側面からサポートし、自ら創り上げる活動を積極的に展開しています。

レースサポート

競技者の安全と万全なレース運営を支える取組



3 楽しむ場・機会の拡大

サイクルスポーツや釣りのイベントを世界各地で開催・協賛してきたシマノ。観客の皆様にも楽しさを感じてもらえるような工夫、また自転車・釣りの新興国における積極的な展開により、文化としての発展を支えます。

シマノジャパンカップ 各釣種イベント

国内における競技スポーツとしての釣り振興と多様な釣りを楽しむ“場”の提供



4 文化発信拠点の展開

製品開発やイベント開催はもちろん、自転車・釣りの歴史や楽しみ方などの知識や情報を発信することもシマノの重要な責務です。それらを実践する“シマノ発文化発信の場”の運営・展開を行い、新しい体験や価値を共有していただくことに努めています。

SHIMANO SQUARE

都市における「知的創造・交流の場」として上質な自転車と釣りの世界の魅力を伝える



釣り講座

E-バイクフィッシング



自転車部品事業
PRODUCT

360°から足を包みこむ 新形状のフラッグシップシューズ



S-PHYRE SH-RC902

プロライダー向けに開発された高機能ブランド『S-PHYRE』より、ロードレース用シューズ『RC902』が誕生しました。最大の特徴は、アッパー素材がシューズ底面までを覆う「360°サラウンドラップ構造」です。足全体を包みこむ新発想の形状により、これまでにないフィット感と軽量化を実現しています。また、使用する素材と配置の検証を重ねることで、パワー伝達力を支える剛性と柔らかな履き心地の二点を両立させました。ヒールカップには、加速時に生じる足のねじれを防ぐために、かかとのブレを軽減するスタビライザーを組み込んでいます。追求された機能美がシューズ全体に反映され、ダイナミックかつ高級感のあるデザインに仕上がりました。

今後もユーザーの求めるニーズにいち早くお応えし、製品を通して新たな可能性を生み出してまいります。



2020年度グランツール3大会が無事開催されました



毎年ヨーロッパで開催される自転車レースの最高峰・グランツール。コロナウイルス感染拡大の影響により開催日の延期を余儀なくされましたが、徹底した感染予防の対策を設けることで3大会すべてが無事開催されました。シマノ・グローバルサポートチームも各大会で華やかな活躍を見せ、プエルタ・ア・エスパーニャではチーム・ユンボ・ヴィスマ所属のプリモシュ・ログリッチ選手が見事2年連続の総合優勝を果たしました。

釣具事業
PRODUCT

さらなる巻き上げ力と耐熱性を手に入れた 次世代スピニングリール



TWIN POWER SW

ソルトゲーム用のリールに求められる「強さのカタチ」は実に多様です。ハードな使用にも耐える剛性とタフネス、海水の浸入を防ぐ防水性能、何よりも巻き上げのパワーが求められます。新しい『ツインパワーSW』は「インフィニティドライブ」、「ヒートシンクドラッグ」などフラッグシップモデルの強さを受け継ぐ機構を搭載し、巻き上げ力と耐熱性をさらに向上させました。これらの機能性による信頼感は、一歩先を目指すアングラーを強力にサポートします。

ベイトリールでは、遠投性能と巻き上げフィールが向上した『アンタレスDC』も新たに登場します。

これからも、アングラーの好奇心をくすぐる独自性と機能性のある製品を展開してまいります。

ANTARES
DC

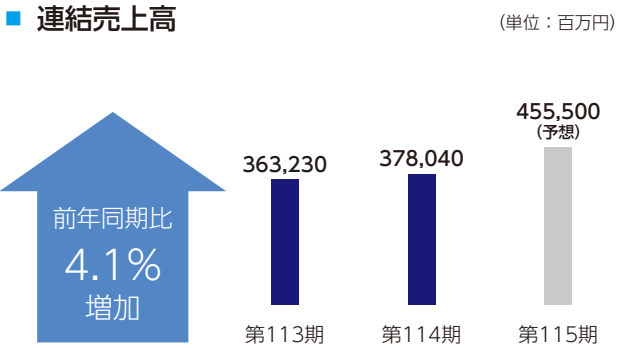


オンラインフィッシングショーが2021年1月に開催されました

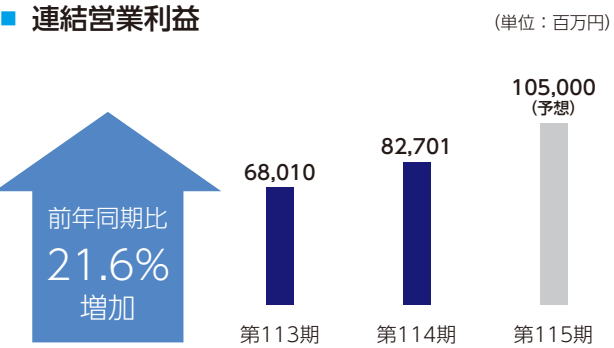


毎年多くの来場者を誇る大型釣具イベント、「釣りフェスティバル」。本年度はコロナウイルス感染拡大予防のため、初のオンライン開催となりました。シマノも同イベントに参加するとともに、独自でも新製品情報のオンライン発信に挑戦。本社大会議室にブースを設営し、撮影を行いました。配信したインストラクターによる製品の解説動画もご好評をいただき、大盛況のうちに幕を閉じました。今後も、時代の変化に合わせたスムーズな情報発信を行ってまいります。

■ 連結売上高



■ 連結営業利益

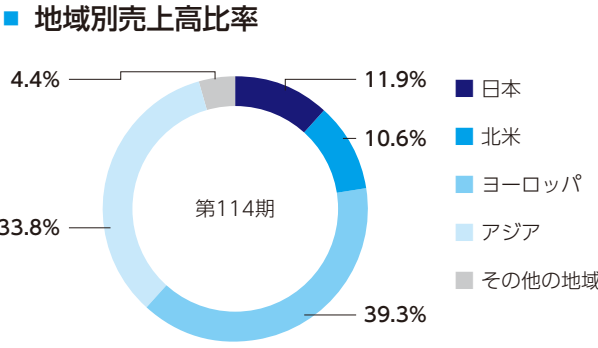


■ 地域別売上高の状況

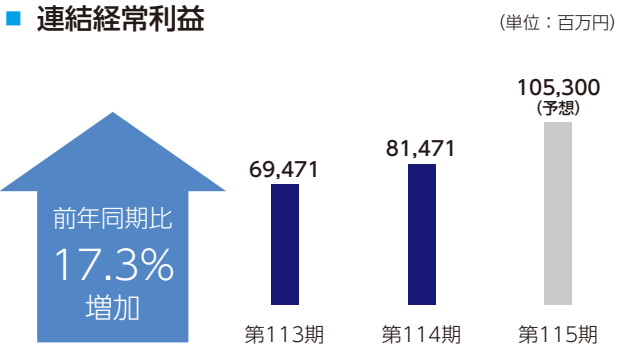
(単位：百万円)

	第113期	第114期
日本	40,734	44,992
北米	36,664	39,876
ヨーロッパ	150,140	148,738
アジア	119,982	127,890
その他の地域	15,709	16,541

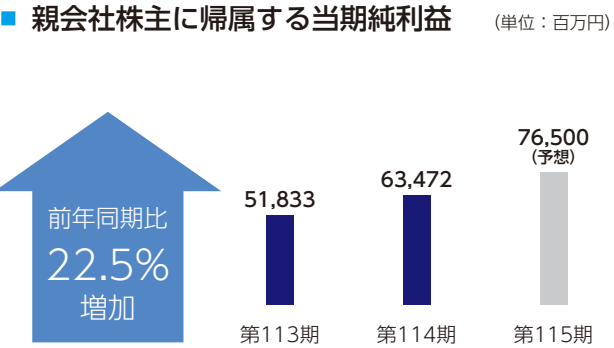
■ 地域別売上高比率



■ 連結経常利益



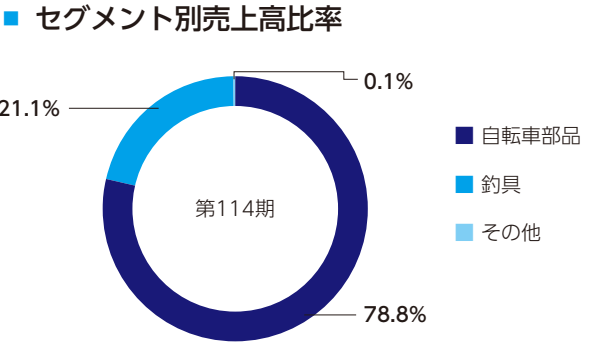
■ 親会社株主に帰属する当期純利益



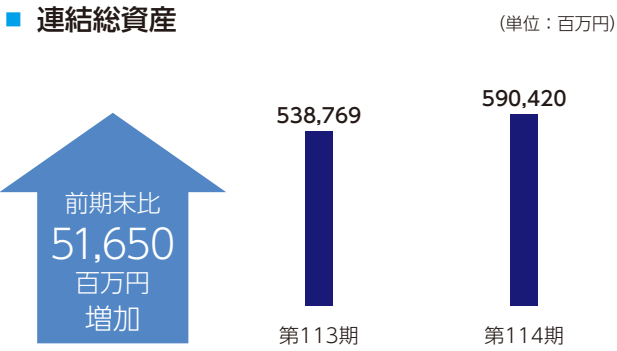
■ セグメント別売上高と営業損益の状況

第114期	売上高 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)	営業損益 (単位：百万円)	増減率 (前年同期比)
自転車部品	297,777	2.7%	68,494	18.4%
釣具	79,907	9.7%	14,264	39.6%
その他	356	0.8%	△57	—%

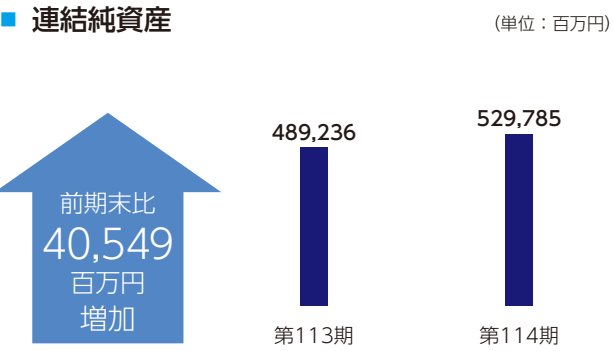
■ セグメント別売上高比率



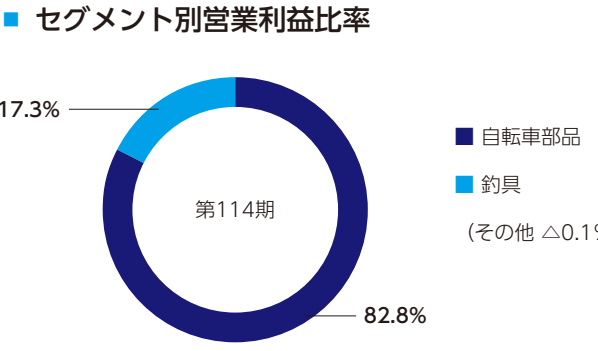
■ 連結総資産



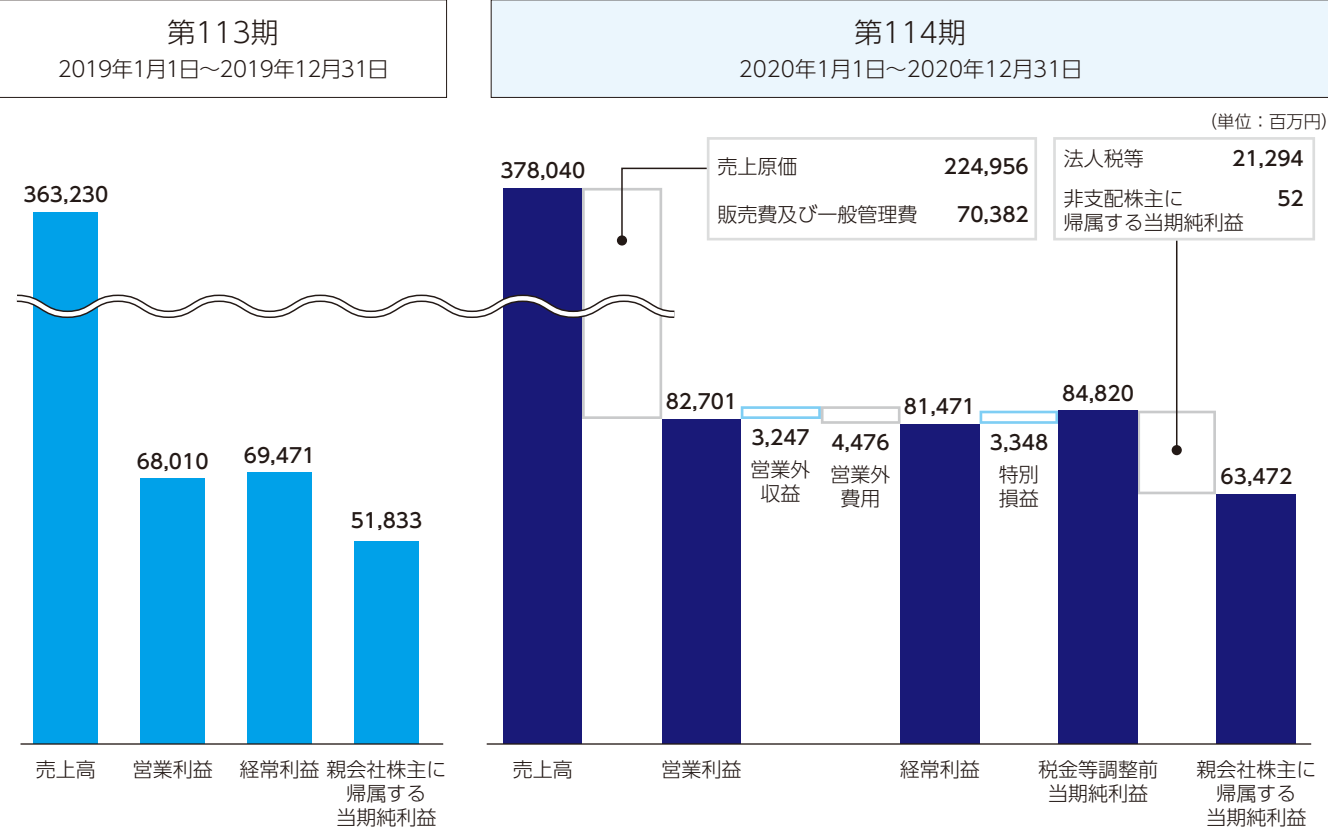
■ 連結純資産



■ セグメント別営業利益比率



■ 連結損益計算書（要約）



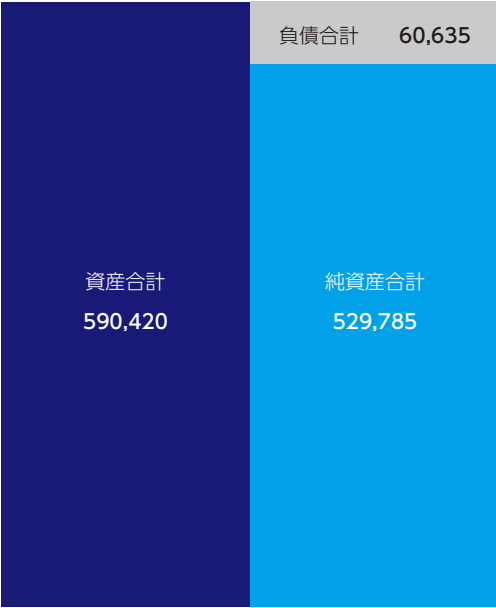
第115期予想（連結）

	業績予想	
売上高	4,555億円	前年同期比 20.5%増
経常利益	1,053億円	前年同期比 29.2%増
親会社株主に帰属する当期純利益	765億円	前年同期比 20.5%増

	セグメント別売上高予想	
自転車部品	3,700億円	前年同期比 24.3%増
釣具	850億円	前年同期比 6.4%増
その他	5億円	前年同期比 40.4%増

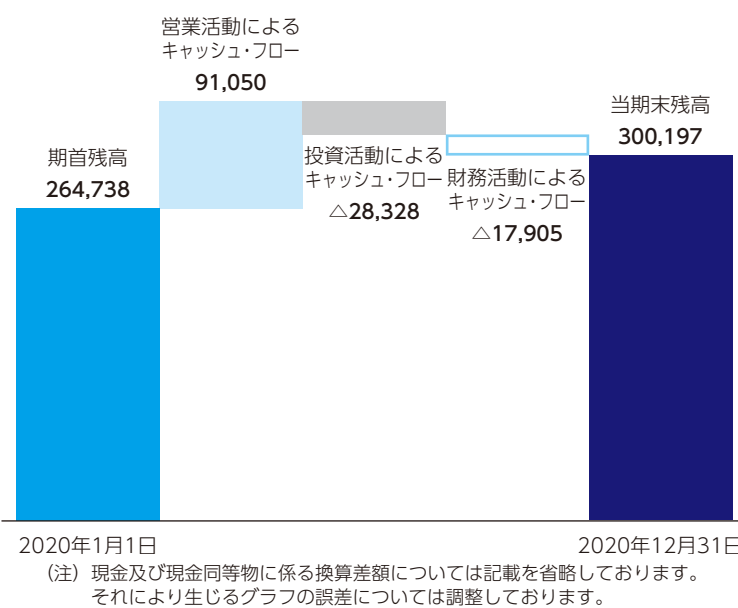
■ 連結貸借対照表（要約）

第114期末 2020年12月31日現在
(単位：百万円)



■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

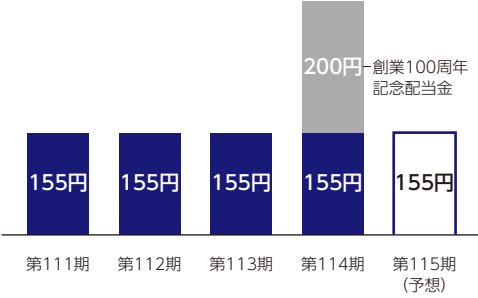
第114期 2020年1月1日～2020年12月31日
(単位：百万円)



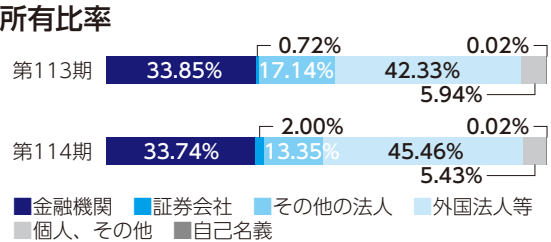
年間配当金の推移

2020年12月期につきましては、2021年3月に創業100周年を迎えることを記念し、株主のみみなさまの日頃のご支援に感謝の意を表したく、1株当たりの配当については、普通配当77円50銭に記念配当200円を加えた277円50銭（中間配当を含めて355円）とさせていただきます。

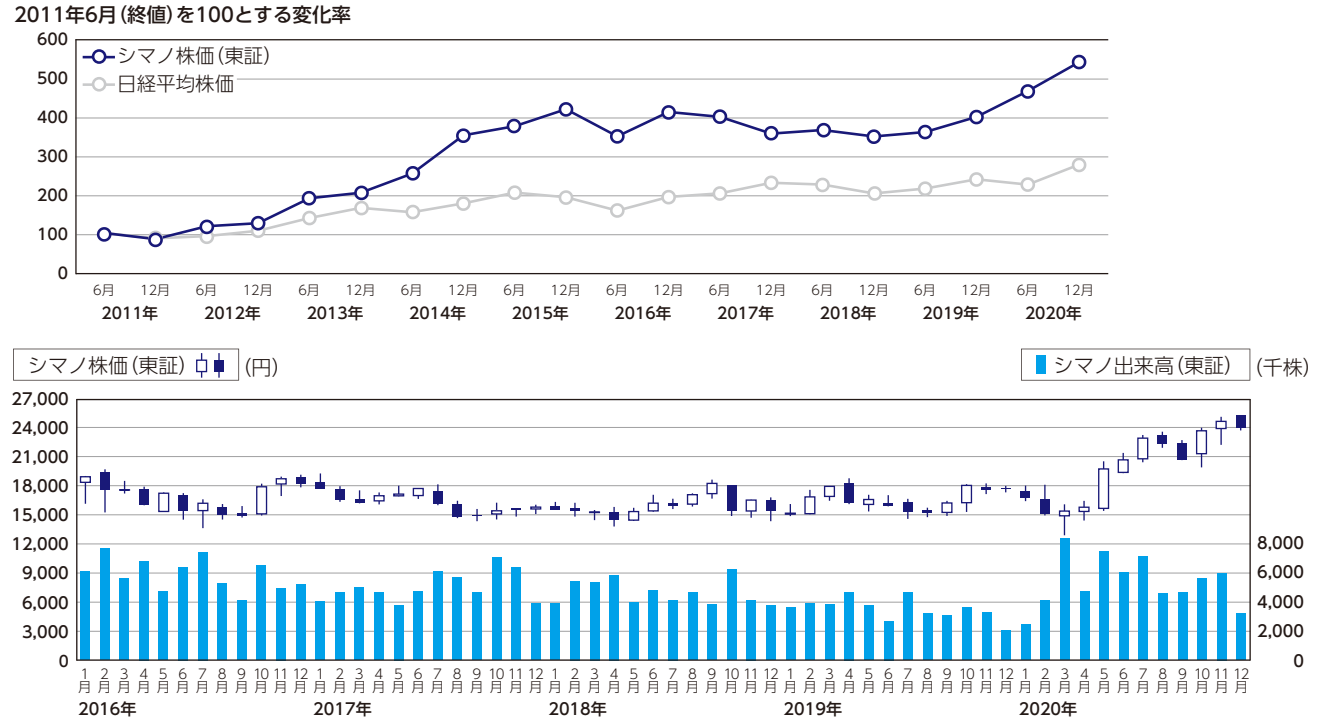
2021年12月期の配当（予想）につきましては、依然、新型コロナウイルス感染拡大の収束を正確に見通せない中、販売と生産に関するリスク等も考慮し、1株当たり年間配当額155円（中間配当金77円50銭、期末配当金77円50銭）とさせていただきます。



- 発行可能株式総数 262,400,000株
- 発行済株式の総数 92,720,000株
- 株主数 6,155名
- 単元株式数 100株



株価チャート



大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
湊興産株式会社	8,487	9.16
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,603	8.20
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	5,155	5.56
JP MORGAN CHASE BANK 380055	2,435	2.63
株式会社スリーエス	2,171	2.34
日本生命保険相互会社	2,098	2.26
株式会社三菱UFJ銀行	2,066	2.23
株式会社りそな銀行	1,711	1.85
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,531	1.65
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	1,243	1.34

(注) 持株比率は自己株式 (20,159株) を控除して計算しております。

社名	株式会社シマノ	役員	
英文社名	SHIMANO INC.	代表取締役社長	島野 容三
創業年月	1921年2月	取締役	清谷 欣司
設立年月	1940年1月	代表取締役副社長	角谷 景司
資本金	35,613百万円	専務取締役	島野 泰三
従業員数	1,442名	取締役	金井 琢磨
事業内容	自転車部品、釣具、 ロウイング関連用品等の製造販売	専務取締役	豊嶋 敬
本社	〒590-8577 大阪府堺市堺区老松町3丁77番地	社外取締役	一條 和生
URL	https://www.shimano.com	専務取締役	津崎 祥博
		社外取締役	勝丸 充啓
		常務取締役	チア チン セン
		社外取締役	榑 原定征
		取締役	樽谷 潔
		常勤監査役	平田 義弘
		取締役	松井 浩
		常勤監査役	勝岡 秀夫
		取締役	大津 智弘
		社外監査役	野末 佳奈子
		取締役	大竹 正浩
		社外監査役	橋本 敏彦

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで	株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	3月	株主名簿管理人	大阪府中央区北浜四丁目5番33号
基準日	期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年 6月30日	事務取扱場所	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株	郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
公告方法	電子公告 当社のホームページに掲載いたします。 (https://www.shimano.com) ただし、やむを得ない事由によって 電子公告によることができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。	電話照会先	☎ 0120-782-031
		ホームページURL	https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
		よくあるご質問 (FAQ)	https://faq-agency.smtb.jp/?site_domain=personal お手続き方法やよくあるご質問は、上記「よくあるご質問 (FAQ)」サイトでご確認いただけます。
		証券コード	7309